



番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B1-1	本市の核施設を連結する市道を歩いて楽しい空間として整備することでまちなかへの回遊性を高め、にぎわいの創出と歩行者通行量の増加に効果がある。	
1-B1-1	本市の中心商店街である胡屋地区周辺の歩行空間を整備し、商店街周辺の回遊性を高める。	
1-B1-1	山里再開発と一体となった周辺市道の拡幅整備を行う事で周辺地域の利便性の向上と生活環境整備を行う。	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	公共交通	一般	沖縄市	直接	沖縄市	中心市街地循環バス事業	中心市街地内の循環バス運行	沖縄市							100	
1-C-2	公共交通	一般	沖縄市	直接	沖縄市	中心市街地駐車場誘導整備事業	駐車場誘導のための情報の発信および利用促進のための駐車場利用補助事業等	沖縄市							22	
1-C-4	住宅	一般	沖縄市	直接	沖縄市	中心市街地定住促進事業	子育て家庭をはじめ、中心市街地へ住み替えを促進し、定住を図るための家賃補助等	沖縄市							22	
1-C-5	景観整備	一般	沖縄市	直接	沖縄市	国道330号沿線景観整備事業	国道330号拡幅工事に伴う沿線景観整備を行うための調査・設計・工事等の事業	沖縄市							224	
1-C-6	施設整備	一般	沖縄市	直接	沖縄市	エイサーのまち推進事業	エイサーのまち沖縄市を市内外にPRするため、拠点施設整備や景観整備を行い、市民	沖縄市							11	
1-C-9	施設整備	一般	沖縄市	直接	沖縄市	商店街交流促進事業	商店街から交流街への再生を行うために商業機能以外にコミュニティー機能の配置等に	沖縄市							35	
1-C-10	施設整備	一般	沖縄市	直接	沖縄市	中心市街地就労等支援事業	中心市街地において子育て家庭を中心とした就労支援を行うための施設を整備し、中心	沖縄市							16	
1-C-12	活動支援	一般	沖縄市	間接	沖縄市	中心市街地産業集積事業	沖縄市に集積されつつあるクリエイターの活動支援と起業家支援としての設備改修補	沖縄市							10	
1-C-13	活動支援	一般	沖縄市	直接	沖縄市	中心市街地情報発信支援事業	中心市街地において情報発信業務やまちなか観光業務を実施	沖縄市							8	
合計													448			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となって中心市街地における主要都市福祉施設を結ぶ交通機能として、中心市街地の回遊性の向上及び生活利便性の向上を図る。	
1-C-2	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となって駐車場に関する情報発信・利便性向上のための駐車場補助等を実施することにより、来街者の利便性を高めまちなかの回遊性を確保する。	
1-C-4	基幹事業全体との連携、中心市街地における定住人口の増加を図ることで郊外移転の抑制とまちなかにおけるにぎわい創出に寄与する。	
1-C-5	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となった事業として国道330号の拡幅整備の促進と沿線土地利用の調査設計・工事等の事業	
1-C-6	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となった事業としてエイサーのまち沖縄市をPRするために行う事業。	
1-C-9	基幹事業全体と一体となり商店街のコミュニティー再生のための施設整備等を行う事により商店街から交流街へ再生を図ることで住みやすい住環境整備を行う。	
1-C-10	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となった都市福祉施設の集積と利用者の利便性の向上を図るために施設整備と運営を行う。	
1-C-12	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となって中心市街地における雇用機会の場と起業家支援を行う事によりにぎわいを創出する。	
1-C-13	コリンザ再生事業（A-4, A-5）と一体となって観光情報の発信とまちなかにおける来街者の滞留を図ることでにぎわいの創出を図る事業。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>各交付対象事業の実施により、中心市街地のにぎわいが創出され、歩行者通行量が増加した。</li> <li>老朽化した図書館が移転・整備された結果、都市福祉施設の充実・強化が図られた。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標①（中心市街地における歩行者通行量（休日）を測定する。）	最終目標値	6,302人/日	目標値と実績値に差が出た要因	交付対象事業のほか、中心市街地の活性化に資する事業が実施されたことにより、目標を上回る効果が得られた。	
		最終実績値	6,936人/日			
	指標②（中心市街地における都市福祉施設の年間利用者数を調査する。）	最終目標値	1,021,057人/年	目標値と実績値に差が出た要因		図書館の移転・整備が完了したことにより、目標を上回る効果が得られた。
		最終実績値	1,335,178人/年			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項（今後の方針等）	
計画期間内に完了しなかった事業については、次の整備計画（H28～H32）において事業を継続実施し、新たな目標の達成を目指す。	

(参考様式3)

(参考図面)

